

取扱説明書

テラダスラリー 水中ポンプ SSX形



もくじ

安全上のご注意	1~4
各部の名前とその働き	5
標準付属品・特別付属品(有償)	5
お使いになる前に	6~8
運転のしかた	9~10
お手入れと点検	11~12
仕様	13
修理を依頼する前に	13~14
営業所一覧表	15

- このたびは、テラダスラリー水中ポンプをお買い上げいただきましてありがとうございます。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになられたあとは、いつも手元においてご使用ください。




安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

-  △記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合はさし込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警告



- ぬれた手で電源プラグに触れないこと



感電の原因になります。



- 修理技術者以外の人は分解したり修理や改造をしないこと



異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。

警告



- 人が入っている水中にポンプを入れないこと



感電の原因になります。



- アース接続を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針
電話のアース線に接続しないでくだ
さい。（アースは電気工事業者によ
る第3種接地工事が必要です。）

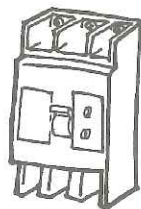


アース接続が不完全な場合は、感電の原因になります。



- 専用の漏電しゃ断器を設置する
こと

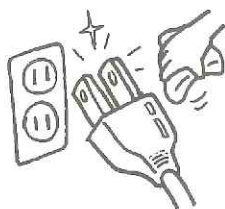
漏電しゃ断器の点検は漏電しゃ断器
の取扱説明書に従って行ってください。



漏電のときに感電する恐れがあります。



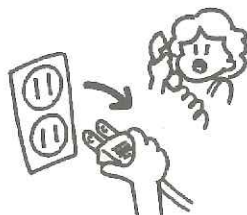
- 電源プラグの刃の周囲にほこり
が付着していないか定期的に確
認し、接続は刃の根元まで確実
に差し込むこと（单相のみ）



ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は
感電・火災の原因になります。



- 漏電しゃ断器が作動した場合や
その他の異常時には、電源プラ
グを抜くか、電源を切ってお買
い上げの販売店に連絡すること



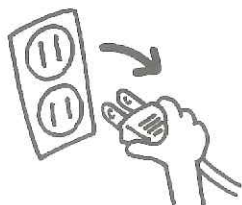
そのまま無理に使用すると、感電・火災の
原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警告



- 掃除や点検をするときは、電源プラグを抜くか、電源を切ること



感電したり、ケガの原因になります。



- 電気設備や配線工事は電気工事店に依頼すること



誤った配線工事は、感電や火災の原因になります。

安全上のご注意

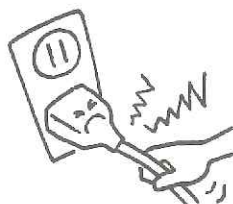
⚠ 注意



- 電源ケーブルを傷つけないこと
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものをのせたり、はさみ込んだり、車にひかれたりすると、電源ケーブルが破損し、感電・火災の原因になります。



- 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持って抜かないこと（単相のみ）
必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルをひっぱるとケーブルが傷つき感電・火災の原因になります。



⚠ 注意



- 40℃以上のお湯、ガソリン、油、灯油、化学薬品には使用禁止



ポンプの故障の原因になります。



- ポンプが故障で運転を停止できない場合には、予備のポンプを設置すること



予備のポンプはいつでも使用できるように、ときどき運転してください。



- 電源は専用コンセントを使用すること
電源ケーブルは途中で接続したり、延長ケーブルの使用やタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

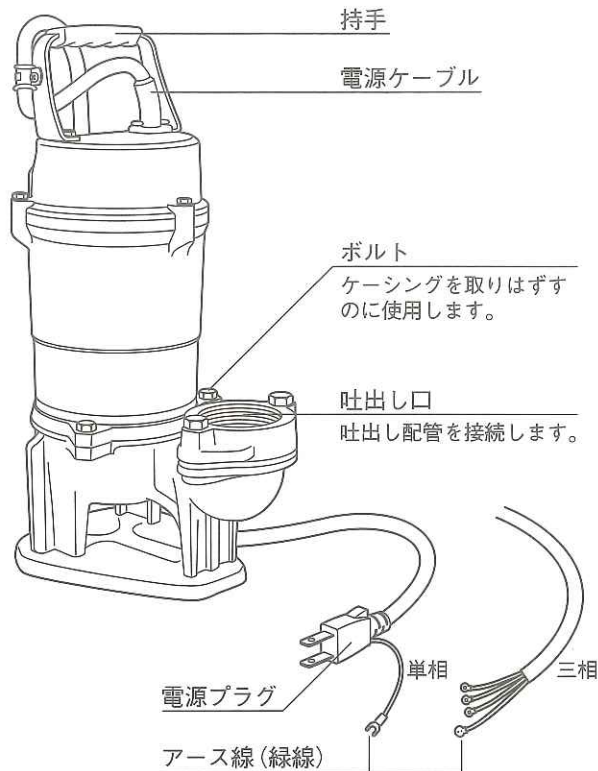


- 使用されないときは、電源プラグをコンセントから抜くか電源を切り、ポンプを水中から出すこと



絶縁が劣化すると漏電、火災の原因になります。

各部の名前とその働き



付属品



特別付属品(有償)



お使いになる前に

標準仕様

取 扱 液	液 質	汚水、汚物または汚泥を含んだ水
	液 温	0~40℃（凍結のないこと）
	異物の大きさ	18mm球以下
電 源 電 圧 変 動		定格電圧の±10%以内
ポンプ水没深さ		4m以内

⚠ 注意

- 海水や塩分を含む水には使用しないでください。
- ポンプを空気中で運転しないでください。故障の原因になります。
- 電源ケーブルを持って、ポンプを吊り下げないでください。故障の原因になります。
- 起動回数は1時間に6回以内になるようにしてください。保護装置が作動し、ポンプが停止することがあります。

お願い

- 液質・濃度・液温により使用できない場合があります。ご不明の点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

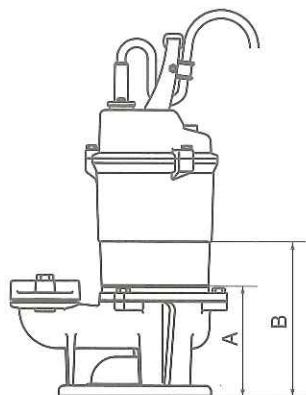
確認・テスト

- 1.ご注文通りのものかどうか銘板をみてご確認ください。
特に50Hz用と60Hz用にご注意ください。
- 2.破損箇所やねじのゆるみがないかご確認ください。
- 3.ポンプの回転方向は上から見て右回転（時計方向）です。ポンプを水中に沈める前に必ず回転方向をご確認ください。（三相の場合のみ）
調べ方：ポンプを片手で下げながら電源を入れてください。入れた瞬間、反動でポンプが左方向（反時計方向）に振れる場合は正しい回転です。
右方向に振れた場合は電源ケーブルの2本の線を入れかえて、回転方向を反対にしてください。

お使いになる前に

運転水位について

運転水位は、下記の通りです。(標準水位)



A : 運転可能最低水位
B : 連続運転可能最低水位

(単位：mm)

形 式	A	B
SSX-500	115	185
SSX-500T	115	185

- 連続運転可能最低水位(B)以下で30分以上運転しないでください。
※保護装置が作動してポンプが停止する場合があります。
(水位により、作動時間が異なります。)

※保護装置

ポンプには電動機の保護装置が内蔵されています。電動機に過電流や異常発熱が発生した場合に、運転水位には関係なくポンプは自動停止し、電動機を保護します。

お願い

- 連続運転可能水位は、水温、液質、比重により変わりますのでご注意ください。

お使いになる前に

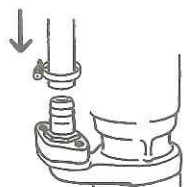
配管のしかた

ホース配管の場合

- 1.竹の子のねじ部分にシールテープを巻くかシール剤を塗り、相フランジにねじ込んでください。

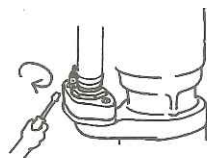


- 2.ホースにホースバンドを入れ、竹の子にホースを差し込んでください。ホースは竹の子の根元までしっかりと差し込んでください。



※使用するホースの外径に合うホースバンドを使用してください。

- 3.ホースバンドでホースを締め付けてください。ホースバンドのねじを工具でまわしてホースをしっかりと固定してください。



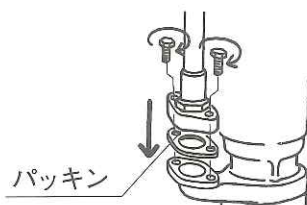
硬質塩化ビニール配管の場合

- 1.相フランジをポンプより取りはずし、バルブソケットのねじ部にシールテープを巻くか、シール剤を塗り、相フランジにねじ込んでください。



- 2.パイプとバルブソケットに塩化ビニール用接着剤を塗り、パイプをバルブソケットにしっかりと差し込んでください。

- 3.相フランジをポンプの吐出し口に取り付けてください。パッキンを入れしっかりと締め付けてください。



運転のしかた

警告



- 人が入っている水中にポンプを入れないこと



感電の原因になります。

手順

1. ポンプを水中に沈めてください。

- ポンプの持手にロープを結び付けて、ロープを持ってゆっくと水中に入れてください。



2. ポンプを垂直に安定させてください。

- 水底が泥や砂などで軟弱な場合は、ポンプが沈下したり倒れたりしないようにポンプの底部にブロック等を敷いてポンプを据え付けてください。
- ポンプ据え付け位置の基礎工事はポンプ及び配管の重量に充分耐えられるだけの面積と厚みをもたしてください。
- 大きな固形物が多い場合はポンプのまわりに金網などの「ごみよけ」を取付けてください。



3. 配管の先端が水中に入らないように固定してください。

- 配管の先端が水中に入っていると、ポンプ停止時にサイホンの作用で水が逆流します。
- 配管の先端が水面より低い位置の場合、ポンプ停止時でもサイホンの作用で水が流出します。



運転のしかた

手順

- 4.アース線は必ず接続してください。
 - ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
(アースは電気工事業者による第3種接地工事が必要です。)
- 5.ポンプに配管の重量がかからないように、配管を支持してください。
- 6.電源プラグを専用コンセントに差し込むか、専用の電源を入れて、運転を行ってください。
 - 必ず正常にポンプが運転していることをご確認ください。

△ 注意

- ホースをご使用の場合は、ホースが踊らないようにして、運転してください。
ホースが踊ると水がかかったり、ケガの原因となります。
- 電動機が高温になっている場合がありますので、運転中、運転終了直後は素手でポンプに触れないでください。火傷の恐れがあります。
- 停電時には電源を切り、ポンプを停止してください。
復旧後の不意のポンプ始動はポンプ付近の人に危険です。
- ポンプを宙吊りにした状態での始動は絶対に行わないでください。
回転の反動でケガの原因となります。

お手入れと点検

警告



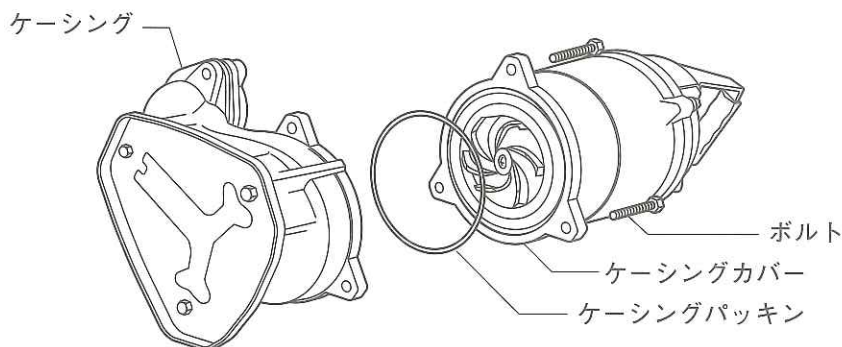
- 掃除や点検をするときは、電源プラグを抜くか、電源を切ること

感電したり、ケガの原因になります。

点検要領

1. ケーシングと羽根車の点検掃除

- (1) バックプルアウト構造のため、ケーシングカバーのボルト3本を外すだけでポンプを点検することができます。



- (2) ごみを取り除いてください。ケーシング内や羽根車、ストレーナに詰まったごみ等を取り除いて、きれいに洗浄してください。
- (3) 元通りに組み立ててください。洗浄後は手で羽根車が軽く回ることを確認のうえ、分解の逆の手順で組み立ててください。破損や摩耗がある場合は必ず新しい部品と交換してください。

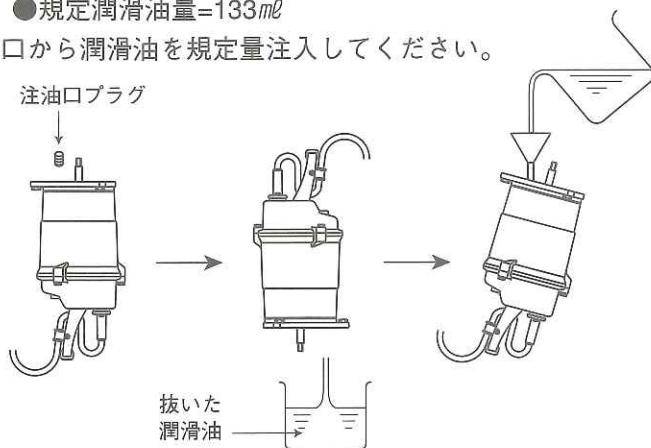
お手入れと点検

点検要領

2. 潤滑油の点検・交換

潤滑油の点検は2000時間ごと(または6ヶ月ごと)、交換は4000時間ごと(または12ヶ月ごと)に行ってください。

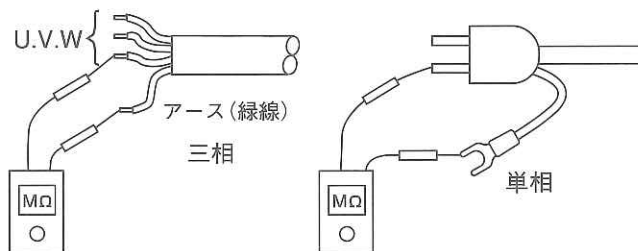
- (1) 注油口プラグを取り外し、本体を注油口が下側になる様に傾けると潤滑油は抜けます。(完全に抜き取ってください。)
- (2) 抜き取った潤滑油が白濁している場合や、水が混合している場合は、軸封装置(メカニカルシールなど)の交換が必要です。
弊社代理店または、最寄りの弊社営業所にご連絡ください。
 - 指定潤滑油=メカニクオイル#10
 - 規定潤滑油量=133ml
- (3) 注油口から潤滑油を規定量注入してください。



2. 絶縁抵抗の測定

500Vメガ計を用いて絶縁抵抗を測定してください。

●三相は各相(U.V.W.)とアース線間。単相は電源プラグとアース端子間で測定し、電動機の絶縁抵抗を確認してください。



- 10M Ω 以上：
運転可能です。
- 1M Ω ～10M Ω ：
運転は可能ですが、早い機会に電動機およびケーブルの点検が必要です。
- 1M Ω 以下：
運転しないでください。

仕様

50Hz

口径 mm	形式	ポンプ				電動機			質量 kg
		吐出し量 ℓ/min	全揚程 m	吐出し量 ℓ/min	全揚程 m	出力 W	電圧 V	相	
50	SSX-500	80	8	230	4	510	100	単	14.2
50	SSX-500T	80	8	230	4	510	200	三	13.2

60Hz

口径 mm	形式	ポンプ				電動機			質量 kg
		吐出し量 ℓ/min	全揚程 m	吐出し量 ℓ/min	全揚程 m	出力 W	電圧 V	相	
50	SSX-500	80	8.5	230	4	570	100	単	14.2
50	SSX-500T	80	8.5	230	4	570	200	三	13.2

注) 質量には電源ケーブル、付属品の質量は含んでいません。

修理を依頼する前に

警告



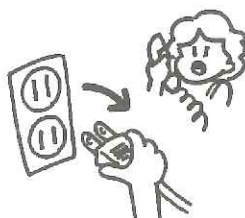
- 修理技術者以外の方は分解したり修理や改造をしないこと

異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。



- 漏電しゃ断器が作動した場合やその他の異常時には、電源プラグを抜くか、電源を切ってお買い上げの販売店に連絡すること

そのまま無理に使用すると、感電・火災の原因になります。



修理を依頼する前に

お願い

「故障かな?」と思ったら、まず次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、電源プラグをコンセントより抜くか、電源を切り、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。

販売店へ連絡するときは、ポンプ銘板に記載の形式・製造番号、お買い上げ年月日と故障状況をお知らせください。

故障状態	故障原因	対策・処置
ポンプが回らない	停電している	電気工事店または
	電圧が低すぎる	電力会社に連絡する
	電源プラグ及び電線のはずれ	確実に接続する
	電源回路の接続不良	接続部分の点検
	羽根車にごみかみこみ	11～12ページの点検要領にそってごみを取り除く
ポンプが運転中に停止する	空気を吸い込んでいる	水位を上げる
	水温が高い	水温を下げる
	電圧が低下している	配線を太く、短くする
	50Hz用ポンプを60Hzで使用	銘板を確認する
	羽根車にごみかみこみ	11～12ページの点検要領にそってごみを取り除く
	回転方向が逆（三相のみ）	電源ケーブルの2本の線を入れかえる
吐出し量が少ない	吐出し管やホースがつまっている	ホースの場合つぶれていないか点検、曲がりを少なくする
	ポンプ内のつまり	11～12ページの点検要領にそってごみを取り除く
	空気を吸い込んでいる	水位を上げる
	回転方向が逆（三相のみ）	電源ケーブルの2本の線を入れかえる

営業所一覧表

- 東京支社 〒116-0002 東京都荒川区荒川1-49-1 荒川第10 泰ビル2F
TEL 03-3803-1161 (代) FAX 03-3803-1162

- 神奈川営業所 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢2125-1-101
TEL 042-774-3670 (代) FAX 042-774-3671

- 北関東営業所 〒360-0015 埼玉県熊谷市肥塚2丁目7番28
TEL 048-523-2654 (代) FAX 048-525-5216

- 仙台営業所 〒984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町3-33
TEL 022-287-0231 (代) FAX 022-287-0235

- 新潟営業所 〒950-0948 新潟県新潟市中央区女池南1丁目5番16号
TEL 025-284-0011 (代) FAX 025-284-1212

- 名古屋営業所 〒457-0004 愛知県名古屋市南区中江2丁目2番9号
TEL 052-819-0188 (代) FAX 052-819-0180

- 静岡営業所 〒420-0884 静岡県静岡市葵区大岩本町26-32 パークサイド城北1F-C
TEL 054-200-1002 (代) FAX 054-200-1003

- 大阪支社 〒543-0011 大阪府大阪市中央区農人橋二丁目1番30号 谷町八木ビル9F
TEL 06-6940-1177 (代) FAX 06-6940-1178

- 岡山営業所 〒700-0971 岡山県岡山市北区野田三丁目9-10-2 岡崎事務所1F東
TEL 086-245-4497 (代) FAX 086-245-7246

- 高松営業所 〒761-8078 香川県高松市仏生山町甲836番地1 ガーデンハイツビューア101号
TEL 087-888-5118 (代) FAX 087-888-5119

- 福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-10-23 第5西田ビル2F-E
TEL 092-411-7555 (代) FAX 092-411-7585

- 広島営業所 〒733-0861 広島市西区草津東1丁目1-6 第3松本ビル1F
TEL 082-271-6505 (代) FAX 082-271-6506

- お客様相談室 〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3番17号
TEL 0745-52-5101 (代) FAX 0745-23-0013



株式会社 寺田ポンプ製作所

〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3番17号
TEL 0745-52-5101(代) FAX 0745-23-0013

<http://www.teradapump.co.jp/>

S2020.6